

長崎大学教育学部 附属学校における特別支援教育

【講演会・事業報告会】

－文部科学省委託事業「特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業」
及び「発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業」の成果報告－



【開催日時】 2019年 **1月26日(土)** 13:00～17:00 (受付開始 12:30)

【会場】 **長崎原爆資料館ホール** 〒852-8117 長崎市平野町7-8

【対象】 地域の教職員、保育者、教育行政関係者、特別支援教育や障害児保育・福祉にかかわる方、保護者、特別支援教育に関心のある大学院生、学生などどなたでも。

【参加費】 **無料** (事前申込み不要)

基調講演

海津亜希子氏

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所主任研究員



＜講師プロフィール＞ 東京都生まれ。専門は LD (学習障害)、アセスメント、学習指導。日本 LD 学会副理事長、日本特殊教育学会代議員、日本発達障害学会評議員、日本教育心理学会会員。東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 学校教育学専攻 教育方法論講座修了。博士 (教育学)。特別支援教育士スーパーバイザー、臨床心理士、学校心理士。文部科学省在外研究員テキサス大学オースティン校客員研究員 (2005 年 3～11 月)。文部科学省「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」協力者会議特別協力者。東京都教育委員会「発達障害のある児童・生徒の指導方法の研究・開発事業」検討委員会委員。通常の学級における学習につまずきのある子どもへの多層指導モデル (MIM) 開発者であり、その汎用化構築や地域ワイドの研究、「読み」や「書き」の実践研究に取り組む。その他、研究論文、著書多数。

《報告会スケジュール》

- 12:30 受付開始 司会 教育学部 准教授 石川衣紀
- 13:00～13:05 開会挨拶
- 13:05～13:15 教育学部からの挨拶 教育学部 学部長 松元浩一
- 13:15～14:45 **講演 「学び方の異なる子どもの理解と支援**
ー通常の学級における多層指導モデル MIMー
国立特別支援教育総合研究所 **海津亜希子氏**
- 14:45～14:55 休憩
- 14:55～15:15 **【事業報告①】**
長崎大学教育学部附属学校における特別支援教育の取組
ー平成 26 年度から平成 30 年度までの文科省事業「支援ラボ」の活動 教育学部 教授 吉田ゆり
- 15:15～15:45 **【事業報告②】**
「特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業」 教育学研究科 教授 鈴木保巳
- 15:45～16:15 **【事業報告③】**
「発達障害の可能性のある児童生徒に対する教科指導法研究事業」
・国語の指導法 ・道徳の指導法 教育学研究科 准教授 友永光幸
- 16:15～16:45 **【事業報告④】**
本事業に関する附属学校における成果 附属小学校 校長 千布本広
- 16:45～17:00 **総括 本事業に望むことと地域への波及効果**
長崎県教育センター 教育支援研修課 特別支援教育研修班 主任指導主事 **岡田健治氏**
- 17:00 閉会挨拶



《アクセス》

JR 長崎駅から

路面電車：「赤迫(あかさこ)」行で「原爆資料館
(旧名称:浜口町)」電停下車、徒歩約 5 分

路線バス：滑石(なめし)・時津(とぎつ)・長与(ながよ)・
女の都(めのと)方面行で「浜口町」バス停下車、徒歩約 5 分

長崎空港から

長崎空港リムジンバス長崎駅前(浦上・住吉方面)行で
「松山町」バス下停車、徒歩約 5 分

主催：長崎大学教育学部
長崎大学教育学部附属幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校
後援：長崎県教育委員会・長崎市教育委員会

《問い合わせ》

長崎大学教育学部 支援ラボ(事務局)

TEL: 095-819-2408

E-mail: shien_lab@ml.nagasaki-u.ac.jp